

## 部局横断で地下7延伸検討会 さいたま市

埼玉高速鉄道(SR)の浦和美園駅以北の延伸策について、さいたま市は23日、市役所内に「地下鉄7号線延伸実現方策検討会」を立ち上げ、初会議を開いた。関係者への取材で分かった。

会議は清水勇人市長を座長に、政策局や財政局、経済局などの局長らが参加。部局横断した作業部会を設置し、行程表作りに取り組むことなどを確認した。

会議は非公開で実施。関係者によると、検討会メンバー(各局長クラス)と、資料収集や企画立案などを行う作業部会(各課長クラス)のメンバーらが出席した。清水市長は延伸実現に向けて、「(浦和美園駅以北の)東部地域のまちづくりが重要だ」と話し、協力を求めたという。

検討会は今後、SR沿線で行われている既存事業の見直しや新規事業のアイデアなどを全庁的に募集する。5月に開く作業部会で検討し、6月の検討会などで詳細を詰めていく。場合によっては、民間人に意見を求めるケースもあるという。

地下鉄7号線の延伸をめぐるっては、有識者らによる「延伸検討委員会」が3月、累積黒字への転換が「慎重に見て44年」と試算。「現時点での事業化は難しい」と指摘している。一方で、沿線地域の活性化や開発を進めることで、実現できる可能性もあると結論付けていた。

清水市長は延伸実現の是非について、「本年度前半には方向性を判断する」と明言している。